

男子60kg級

準決勝戦第1試合

5 小川 武志
(了徳寺学園)

合せ技

○ 3 石川 裕
(了徳寺学園)

僚友による新旧の対戦。小川は4回戦で野村（ミキハウス）との息詰まる接戦を袖釣込腰有効で制し、驚異の七連覇の夢を掛けて準決勝戦に臨む。

対する新人石川は立って良し、寝て良しの活躍を見せオール一本勝で準決勝戦進出。

共に右組みの両者、開始早々石川が勢いづいて前に出る。小川は野村戦で精魂使い果たしたかの如く組手に精彩を欠く。開始間もなく奥襟を深く掴んだ石川は強引な大外刈を仕掛け、16秒技ありを奪う。

続いて石川は同じ奥襟を深く掴んだ姿勢から、今度は巴投で小川を前方に転がし技ありを奪う。僅か開始31秒で小川のV7の夢潰える。

準決勝戦第2試合

3 山岸 将大
(J-Road)

(背負投)

● 3 堅山 剛
(鹿情報教)

新人選手同士の対戦。山岸は苦しみぬいての準決勝戦進出。対する堅山はオール一本勝で堂々の進軍、

試合は共に左組み同士。両者、足技、背負投等で果敢に攻めるが決め手とならない。3分29秒、堅山の掛けた背負投に山岸の体が浮き、有効を先取。その後も互いに攻めるが決定打とならず時間切れ。結局この有効のポイントが決め手となり、堅山の優勢勝となる。

決勝戦

3 石川 裕
(了徳寺学園)

○ 腕挫十字固

3 堅山 剛
(鹿情報教)

左組みの両者、開始早々石川は左組みから右の低い背負投で、二度び堅山をぐらつかせる。その後、石川は堅山の左巻込が不発に終わるところを寝技で攻め、瞬時素早く上から跨ぐように堅山の左腕を抱きかかえ、腕挫十字固に極めれば、堅山は石川の足を叩いて参った。1分35秒、石川は瞬間の隙を衝く手練の関節技が極まり、初出場を優勝で飾る。